

第5回 骨髄バンクとの意見交換会

開催日時：2025年12月5日

参加者：【骨髄バンク】【HCTC】計30名

議 事

I HCTCから骨髄バンクへの質問・意見

Q1：採取前健診でコーディネート終了になったドナーは、ドナープールに戻る可能性はあるのでしょうか。終了になった理由にもよると思いますが、理由別で違いがあれば、そこも教えてください。また、ドナープールに戻る場合、戻るまでの期間は決まっていますでしょうか。

A1：ドナー理由で術前健診が終了となった場合、ドナーの既往歴や健康状態で終了となるため保留期間もしくは取り消しどちらかの判断になる。保留期間を設けた場合は、ドナープールに戻ることは可能。保留期間の設定は、健康上の理由のため原則は1年。医師の判断で複数年の保留期間を要することがある。

Q2：バンクドナーの術前健診について

腰痛があるドナーが上がってくることがあり、最終判断は採取医師ですが少し困ります。内服やサプリメントの自己申告を術前健診で初めて確認することが多くなっていますが、バンク側で確認漏れがないようにして頂けないでしょうか。術前健診まで来ると、腰痛を覆すことが難しい。事務局の時点で把握していただきたい。確認検査医師が採取医師でないことが多いので確認が甘い気がする。

A2：腰痛に関しては、確認検査でも医師に別紙をつけて確認してもらっている。そのうえで、「適格」と判定されているドナーが上がっているが、最終判断は採取施設側にお願いしたい。内服やサプリメントについて、コーディネート開始時点から申告してもらおうよう働きかけをしているが、正確に申告していただけていないことは把握している。今後もきちんと申告してもらおうようにしていきたい。

Q3：バンクからのFaxについて

ほとんどエラーで受信できないのはどうしてでしょうか。ステータスレポートには術前健診日の日程の記載があっても、採取病院などの連絡がないことがあります。どうしてでしょうか。

A3：FAXがエラーで受信できないのは、FAX同士やシステムで使用するソフトウェアのバージョンの相性もあると思うが、ご不便をおかけしており大変申し訳ない。移植調整部に連絡をいただければエラーFAXをすぐに再送させていただくのでご了承ください。

ステータスレポートの術前健診日の日程が記載されているのに採取病院の連絡がないということについては、地区事務局は最終同意面談の日程と術前健診の日程が近い場合、書類準備のため術前日程をシステム入力するため、ステータスレポートに反映されてしまう。一方、採取施設の決定のお知らせは最終同意面談で最終同意が確認されたあとになるため、採取病院をお知らせする前にステータスレポートに術前健診日が載ることになってしまう。

Q4：移植施設側：患者登録時の確認検査

患者登録後、迅速な確認検査の実施がコーディネート期間短縮につながる。しかし、患者が他施設で待機する場合や、タイトに化学療法が組まれるケースでは採血が遅れる。(SRLのサブ検査：不慣れな人が実施すると検体不足で再検査になることがある) 患者登録の同意取得と同時に確認

検査を実施できないか？

*HCTC のいる施設では、移植適応となった他施設の患者が移植病院へ来院し、初回面談で JMDP 登録を含む様々な説明を実施、その後は元の病院で待機となることが多い。登録に数日要し、SRL との日程調整も必要になるが、タイミングを逃すと確認検査が 1 か月遅れる。

A4： SRL 予約の際、JMDP 患者 ID が必須のため、事前に予約票を送ることが困難。一度、移植施設から元の施設（登録施設）に戻る場合、登録施設や主治医の施設でも確認検査採血は可能なので、登録施設の住所と医師名で予約票をご記入いただければ、そちら宛に採血セットが送付されるため、そのように対応していただきたい。

HCTC 要望： SRL との調整をご検討いただけると、コーディネートの短縮につながると思う。今後何かしらの対策をご検討いただきたい。

Q5： 登録で ID が必要となるのであれば、システム上予算的に可能なら登録した時点で自前の採血管に貼れるようなバーコード等を出してもらうことは可能か。

A5： 患者 ID は JMDP 患者登録後に取得される。また、JMDP 患者登録においては、提出/入力された情報の正誤性確認等を行っている。

SRL へは、基本的に 1 週間前の予約が必要となっているが、SRL に直接ご相談すれば早めの採血は可能と思われる。ただし当日は困難と思う。

Q6： 移植施設側：造血幹細胞移植支援システム（医療機関支援）のドナー申込

患者一覧→検索結果→申込を実施後にも検索結果に申込済ドナーが表示される。ドナーID の照合ができず、オンライン申込も可能であるために再度、同じドナーを申込んでしまう。

A6： ドナー申し込み実施後、1 日 3 回（11 時、16 時、21 時）適合検索（検索条件あり）がかかるとドナー申込したドナーは表示されなくなる。万が一、同ドナーを選択された場合でも、JMDP でエラー認識して対応できる。

以前はピックアップ用紙に整理番号を記載してドナー情報を記載いただくなど紐づけ情報があったが、現在はなくなったためわかりづらくなったという声をいただいている。ヘルプデスクに不都合について声を寄せていただけると認識されると思う。

Q7： このような件に対し、骨髓バンクとヘルプデスクどちらに問合せをすればよいか。

A7： 医療機関支援機能に関してはヘルプデスクに寄せていただきたい。FAX エラーは JMDP にお寄せください。

Q8： 移植施設側：造血幹細胞移植支援システム（医療機関支援）のドナー申込

「採取歴：有」を申込時点で確認する方法があるか？患者一覧→検索結果→申込画面のドナー一覧のコーディネート履歴に掲載されると便利。難しければ、ステータスレポートの「☆」マークのような目印を付記いただけると助かる

A8： 「採取歴の有無」は医療機関支援機能にない情報で、コーディネートが始まったら JMDP から提供している。医療機関支援機能が稼働する前の仕様確認の段階で、国立がん研究センターの福田先生の班研究の結果で、患者理由終了になったドナーは、次のコーディネートに上がった場合は採取に繋がりがやすいという研究結果を踏まえ、医療機関支援機能の検索画面に載せる仕様として採用されたのが「終了理由」。医療機関支援機能に JMDP から提供し、搭載されるドナー情報は、現在のところ「終了理由」のみであるが、採取歴の情報が欲しいのであれば、「当該ドナーの採取

歴情報についても、適合検索結果に追加してほしい」旨をヘルプデスクに寄せていただけると問題要望として認識いただけるかと思う。

Q9: 採取施設側：PB 依頼時の連日型 G-CSF について

持続型/連日型両方が可能な採取施設において、ドナーが連日型を希望することがあるか？

PB 採取依頼をうけた場合、持続型/連日型両方のスケジュールを返信する必要があるが、連日型は各所への確認と調整を要するため返信が遅くなる。当院では連日型の希望を受けたことがなく、希少ケースであれば随時対応にさせていただきたい。

A9: 持続型、連日型療法可能な採取施設において、ドナーが連日型を希望することはある。ドナーの方が遠くに出向くことがある。通院は大変なため、入院による連日型を希望されるケースがある。

Q10: 採取施設側として、困ったことはあるか (HCTC に質問)

過去に PB 採取依頼の際、返事を早急にと求められている印象がある。数日以内に返事が欲しいという印象。こちらとしても早めに返事をしたいが、連日型であると調整が必要なため、持続型と連日型をそろえて返事する場合は遅くなることを許容いただけるか。

A10: 採取施設から 3 日以内の返事をいただけるようにさせていただいているが、施設によるご事情を都度言うていただきたい。

Q11: 採取施設側：個人情報の受領確認

採取決定～術前健診の期間が短いケースでは、ドナー個人情報を FAX 送信いただいている。

送信後、事務局より FAX 受領確認の電話があるが、即時確認できないことも多い。

FAX 受領の報告は、当日中のメール返信でも可能か？

何時送られてくるのか分かればよいのだが、電話を一報いただくことは可能か。

A11: JMDP はドナーさんの個人情報の取り扱いに一定のルールを設けている。かなりタイトな調整をお願いして引き受けていただいて申し訳ないが、誤送信の可能性を考えて、受理できているか確認させていただいていることをご了承いただきたい。どなたか必ず常駐している部屋に FAX を送り、受けた方に受理できたと確認できれば良いため、どなたでも可能 (医師や HCTC でなくてよい)。当日のメール返信については、基本的に個人情報が含まれているのでその場で受理確認をさせていただきたい。

施設のほうからご連絡をいただければ、その時間帯で FAX 送信することは可能。

II バンクから HCTC へのご意見・ご相談

Q: 医療機関支援機能を頻繁に使用される医療機関のみなさまが、改修を強く希望される機能等がありましたらお聞かせください。

※JMDP からは今後の改修希望として「ステータスレポート機能」の搭載をプッシュしているところです。(ステータスレポート自体を PDF ファイル等で搭載等、方法は今後の検討)

A 施設: ヘルプデスクには伝えているが、当院では HCTC がドナーピックアップ画面をプリントして、その用紙を用いて医師が選んだものを入力している。バンクのドナーピックアップ用紙を出してほしい。ホームページから出力すると、Excel で分かりにくいものとして出てきてしまうので、わかりやすくしてほしい。

→出力機能で紙状の見やすい形式を希望されているということで理解しました。

B 施設：ドナーを以前 FAX 一覧で送っていただいていたように画面を一覧で見られるようにプリントはできないのでしょうか。

→ヘルプデスクに連絡を。紙媒体を使用しないことを前提に作られている。

C 施設：支援システム登録を HCTC が実施し、ドナー一覧を医師が選んだものを入力しているが、閲覧しにくい。今後改善をしてほしい。

→ヘルプデスクに要望を。医療機関の皆様からお声を上げていただきたい。予算範囲内で対応となると思う。

その他持っていたほうがよいという機能があれば次年度の要望として出せるので伺いたいと思っていた。

Ⅲ 其他のご質問

●HCTC→骨髄バンクへの質問

Q1：確認検査前終了のドナーさんは、調整料がかかるのか。

A1：請求しません。確認検査後の方のみ、調整料（3000 円）+検査料（5000 円）がかかる。

Q2：確認検査にコーディネーターが付いてこない場合でもトラブルはないのか。

A2：今のところトラブルはないが、ドナーが当日来院されないということを調整医師から連絡をいただき、リスクとなったケースがある。

Q3：3000 円の調整料は、すでに確認検査を省略できるドナーの方でも、3000 円請求されますか。

A3：請求されません。

Q4：PB ドナー採取の際、採取量上限が設けられているが、採取時に穿刺部痛に耐えながらも上限まで採取させていただいた。上限までいかなくとも、途中で CD34 陽性細胞数を確認して×2 以上であれば際採取を終了しても良いか。

A4：ドナーの負担を減らすうえで、細胞数が十分とれているのであれば上限まで取らなくても良いという通知を以前出してあると思う。途中で細胞数を確認して、ストップしているということは速報で報告をいただいているので把握している。